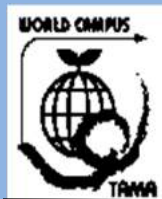


WORLD CAMPUS in 多摩

2017
REPORT



ワールドキャンパス多摩(WCT)
Tel/Fax:042-338-8416
E-mail:worldcampustama@yahoo.co.jp
www.geocities.jp/worldcampustama/

2017年度、ありがとうございました。



日本



アメリカ



イギリス



イスラエル



オランダ



スウェーデン



フィンランド



ノルウェー



フランス

ワールドキャンパスとは

NPO 法人ワールドキャンパスインターナショナルが募集する 10 数カ国からの 17 才以上の若者たちが、日本の各地でホームステイしながら交流・学習するプログラムです。

交流・学習プログラムは各地域の人たちにより独自に企画・運営されます。世界中から参加する若者は、日本人や日本文化について深く理解し、日本のサポーターとなって帰国します。ワールドキャンパス多摩は、多摩市での活動を全面的にサポートする 100% ボランティアの市民団体です。



2017 訪問都市





HOMESTAY 8/6-8/12

8/ 6

対面式&歓迎会

会場:唐木田コミュニティセンター

8/ 7

恵泉女学園大学

南鶴牧小学校

鶴牧中学校との交流

8/ 8

世界とあくしゅTamaひろばイベント

会場:永山公民館ベルブホール

8/ 9

パルテノン多摩バックステージツアー

日本アニメーション 企業訪問

多摩市国際交流センターとの交流会

会場:関戸公民館ヴィータ7階ロビー

8/10

休日:メトロポリタンツアー

8/11

休日:ホストファミリーデー

8/12

解散:成田空港へ



ワールドキャンパス・イン・多摩の活動をご支援してくださった皆様に、心からお礼申し上げます。

この活動は、紛争の多い混とんとした世界の中、外国の若者と地域の私共が交流し、民族・宗教・国民性・習慣や考え方の違いを超えて、お互いを理解しあい、世界を知る機会ともなっており、周りから多くの賛同を得ていると自賛しています。

今年は、2007年以来10回目で記念すべきものにもなり、多摩市をはじめ、多くの方々からご協力とご支援をいただきました。更に、この活動を続けてゆきたく、今後とも皆様の暖かいご協力をよろしくお願い申し上げます。



ワールドキャンパス多摩
会長 橋本正晴

今年も8月6日から12日までの間、世界8カ国から集まった20名の若者と共に多摩市を訪問させていただき、ワールドキャンパス・ジャパンプログラムの活動を成功裏に実施させていただきました。弊プログラムの多摩市での受け入れをしてくださったワールドキャンパス多摩の皆様、それからホストファミリーの皆様や多摩市・多摩市教育委員会、多摩市国際交流センター、唐木田菖蒲館・児童館の皆様、グローバル言語文化研究会の皆様、多摩市文化振興財団の皆様を始め、今回の受け入れにご尽力いただいた多摩市の全ての皆様に、心から感謝申し上げます。今回で第10回目となる記念すべき多摩市訪問も、“世界とあくしゅTamaひろば”での子供たち・市民との交流の他、今回で4回目となる恵泉女学園大学訪問・平和についてのディスカッション、南鶴牧小学校・鶴牧中学校での子供たちとの交流やパルテノン多摩のバックステージツアー、日本アニメーション社訪問・見学、それにTICの皆様主催による市民交流等を通して、多摩市の皆様とワールドキャンパスのメンバーにとって実りの多い活動をさせていただくことができました。未だ混沌とした世界情勢の中、ワールドキャンパスが目指す“日本と世界の人々の市民レベルでの繋がりの充実・拡大による世界平和への貢献”を土台とした今回の多摩滞在中に培った、ワールドキャンパスのメンバーと多摩市の皆様の国際理解・国際協調の力とメッセージを、これからも多くの世界の若者や日本の皆様に伝えていきたいと思っております。今回の多摩市での活動結果に満足することなく、更なるプログラムの改善・努力をして参りますので、今後とも宜しくお願いいたします。

特定非営利活動法人
ワールドキャンパスインターナショナル
理事長 西村紀公



対面式&歓迎会 8/6(日) 会場: 唐木田コミュニティセンター

WCI20名、WCT11名、WCTユース6名、ボランティア4名、南鶴牧小学校合唱団73名

我孫子市から多摩市に到着した20名を唐木田駅で迎え、初日が始まりました。唐木田菖蒲館で昼食を終え、WCTスタッフ、ユース、グローバルと菖蒲館からのボランティアスタッフ、菖蒲館事務局長さんたちと対面。昨年も一昨年も多摩に来てくれたリーダー格のカウンセラーたちの懐かしい顔もうれしく、みんな笑顔で迎えました。オープニングは、南鶴牧小学校合唱団のかわいい天使の歌声。おなじみのアニメソングに、一緒に歌っているメンバーもいました。まずは、多摩でのプログラムで交流する各団体の皆さんから、それぞれ企画内容の説明があり、キティちゃんが登場する「ハローキティに会える街」のDVDで多摩市を紹介。多摩市広報課より尾崎課長から歓迎のお言葉とキティちゃんクリアホルダーに入った「プロフィール多摩(英語版)」をいただき、多摩オリエンテーションを終えました。(WCT: 中村)

NPOグローバルの学生と一般募集した大学生が、WCTユースとなって対面式を担当しました。事前にミーティングを重ね、対面式、世界とあくしゅTamaひろば、メトロポリタンツアーの企画について意見を交わしました。今回初めて参加する学生も、見よう見真似で、不安を抱える中、彼らなりに積極的に企画に参加してくれました。対面式は、メンバーにとってドキドキ、ある意味不安なひと時であり、ホストファミリーも、準備してきたことが報われるかどうか、ドキドキ、ワクワクする瞬間です。「忘れられない一瞬になりますように。」アイスブレイクは、会場が一つになって体を動かす楽しいダンスの命令ゲーム。続いて、メンバーに、「好きな日本食は?」「あなたの国の有名なものは?」とインタビュー。やりとりを聞いて、「我が家にステイする子だ!」と思うホストファミリーは手をあげ、晴れてマッチング完成! 初対面の写真撮影は、少々ぎこちない笑顔と上気した様子が写っています。一週間後、見送りの表情はきっとまた違ったものになるでしょう。(グローバル: 大槻)



- 海外の皆さんがアニメの曲を知っているという反応を貰えて嬉しかったこと。英語の挨拶が通じた時の子ども達の嬉しい顔。全部日本の曲でしたが、大きな拍手を頂けたことが、子ども達にとって大きな自信に繋がり、歌の力を改めて感じる事が出来た1日は素敵な思い出になりました。(南鶴牧小学校教諭〈音楽専科〉花房 優)

恵泉女学園大学 8/7(月) 会場: 各学校校舎内にて

WCI 20名、恵泉女学園大学学生12名、WCTユース3名、WCTスタッフ5名

4年目となる今年は一緒に物作りを楽しむのではなく、もう一歩進んだ交流にしたいということで「ディスカッションプログラム」に初めて挑戦しました。DaSilva教授がWCIの活動の原点であると「世界平和」をメインテーマに決めて下さいました。6つのチーム(1グループ5、6人)に分かれて話し合いました。恵泉の学生さん達も積極的に参加して下さいとても良い交流が出来たと思います。チャペルでの広島で被爆した祖父をもつ河野二葉さんの英語のスピーチには心を打たれました。素晴らしかったです。(WCT: 眞島)

I honestly didn't know about details both the exact schedule of the day and the history of their project and so on, but I had a good time to communicate with them and discuss about something going on in the world. What I could have done: I know we didn't have time, but if I could instruct Danish Gymnastics as a warm up, it would have been fun because some of them are from Nordic countries. What I have done which I think is good: I supported one student who wasn't confident enough for her English during discussion. I thought if students ever think they want to join this kind of events, they should try even if they are shy, because they could realize many things through and experience something they can't in daily life at Keisen.

- 私はWCTの今までの活動について又活動日のスケジュールについても良く知りませんでしたが、WCIのメンバーと世界で起きている様々な事について話し合う事が出来てとても良い時間を過ごすことが出来ました。時間があまりなかったけれど北欧から何人か来ていたので、もし私が前座でデンマークの体操を見せることが出来たら楽しかったのと思いました。ディスカッションの中で私は英語に自信が無い人をサポートしました。これからこのようなイベントに参加してみようと思う学生がいたら恥ずかしくてもどんどん挑戦するべきだと思います。なぜならこのようなイベントを通して恵泉の学生生活では得られない沢山の物を得られると思うからです。



南鶴牧小学校・鶴牧中学校 8/7(月) 会場:各学校校舎内にて

多摩市内にある小学校と中学校を20名2グループに分かれて訪問をしました。小学校では学校の生徒さんと父母の皆様で作上げた青々とした芝生でお近づきのドッチボールからスタート。ドッチボールを知らない国の学生は、新鮮なスポーツに子ども達と熱い汗を流しました。そのあとはお教室で日本の昔遊び。折り紙やかるた取りなど、言葉が通じなくて緊張していた子ども達が身振り手振りで自分で一生懸命伝えようとする姿を私たちスタッフは温かく応援。短い時間でしたが、刺激をうけたひとときだったと思います。(WCT:柳井)

中学校では、8ヶ国を短時間で楽しく英語で学ぶ授業を学校の図書館で行いました。生徒だけでなく、校長先生、中学校の先生方も参加。日本語が通じない異国の学生の皆さんというだけで、ご対面の時は中学生の皆さん全員緊張。8ヶ国10名の学生は各々で準備したパソコンを開いて、日本に来日するために勉強した日本語を使って中学生達の緊張をほぐしていました。緊張がほぐれたところから全て英語になりましたが、自分が暮らしている国を、中学生に分かりやすく説明。中学生たちは、図書館内にある地図や図鑑などを出してきて、自分の覚えた英単語を使ってトーキング。緊張でこわばっていた顔からどの生徒さんも笑顔が見られました。話したいという気持ちがあっても、上手く話せないという気持ちから、上手く話せなくても伝えることが大切なんだ！と実感したことでしょう。この日は、昨年ワールドキャンパスインターナショナルに参加したシドニーさんが、今年から慶應義塾大学に留学。ワールドキャンパス多摩のサポートとして来てくれました。(WCT:栗原)



中学生の感想

- たくさんの国の人とお話が出来て良かった。
- 今まで知らなかった事を沢山知れて良かった。自分からあまり話に行けなかったの、次回また機会があればもっと話したいと思った。
- もう少し外国人との会話に慣れ、会話をもっとしてみたいと思いました。またこういう機会があったら、是非参加したいと思います。
- もっと長い時間、色々なことを話したかった。ものすごく楽しくて、来年も是非やってほしいです。
- 実際に参加してみたら、英語が速くて聞き取れなかったの、語学力をつけたいと思いました。来日した学生は皆面白かったの、楽しかったです。
- まだコミュニケーションが出来るほどの英語力がなかったの、勉強しなければいけないと思いました。英語をあまり話せなかったから不安だったけど、丁寧に説明してくれて嬉しかった。
- 私たちに分かりやすく話してくれたので、私にもわかることがあって楽しかった。楽しめるような工夫があったので、来日した学生の皆さんはすごいなあと思いました。
- もっと英語が話せるように努力したい。自分の良い経験になったと思う。こういう国際交流に沢山関わりたいと思った。
- 楽しかったです！私たちにこういう機会を与えてくれたことで、英語が分かるようになったと思います。英語でゲームをしてみたかったです。
- もっと英語でいろんな事を話したかったです。質問とかもっとしてみればよかったと今になって思います。とっても楽しかったです。
- 楽しかったです。自分はチーズが大好きなのでスイスに行ってみたいです。次回もこのような国際交流があったら、一緒にスポーツをしてみたいです。
- もっと自分が英語が話すことが出来たら、話していることが理解できるので、頑張って英語を身につけたいです。

WORLD CAMPUS TAMA
2017



WORLD CAMPUS TAMA
2017

世界とあくしゅTamaひろばイベント

8/8(火) 会場: 永山公民館ベルブホール

地域の皆様に来日した皆さんの国々の文化にふれながら一緒に楽しめる「世界とあくしゅTamaひろば」を多摩市永山ベルブホールで開催。会場はたくさんの親子連れで満席でした。多摩市長もかけつけて頂き、地域の皆様と一緒にイベントを楽しんで頂きました。永山の妖精永どんも暑くてバテてる永山森林の昆虫達のパトロールを無事に終わって会場入り。首都大学東京管弦楽団の演奏は世界共通に楽しめて口ずさめる曲で楽しかったです。来日した20名の学生達が短い時間の中で絆を結びながらつくりあげた数々のパフォーマンスショーは心うたれゾーンとくるものがありました。多摩市役所の担当課との打ち合わせ約数か月。ワールドキャンパス多摩スタッフやユースチーム、地域の皆さまの温かいサポートがあったからこそ成功した、地域のみならず頑張った1日だったと嬉しく思います。ご来賓もかなりの数でしたが、新聞社の取材も2社ありビックリでした。ワールドキャンパス多摩の活動が毎年少しずつ成長しているという実感があった一日でした。(WCT:栗原)

パルテノン多摩・日本アニメーション(株) 訪問 多摩市国際交流センター(TIC)との交流会

8/9(水) 交流会会場: 関戸公民館7階ヴィータロビー

メンバー20名のうち13名がパルテノン多摩に参加 7名は日本アニメーション(株)訪問

台風が通過して太陽ガラガラ。この夏一番暑い日になりました。パルテノン多摩常務理事 渡辺さんの案内で舞台裏や照明器具の体験。そしてこの建物の4階にあるオルゴール博物館の見学をし、世界に一つしかない100年前のオルゴールなどのコレクションと美しい音色に感激したメンバー達でした。オルゴールの後は、クラフトルームで折り紙を習いました。伝統的な模様の千代紙の説明を受け、お気に入りの紙を選び、鶴を折りました。子どものような笑顔が微笑ましかったです。(WCT:中村)

来日する多くの外国人に、絶大なる人気を誇る日本のアニメ。勿論、今回のメンバーも同様です。この日は、アニメスタジオ見学を実施しました。この企画の実施にあたり、今回、日本アニメーション(株)様の多大なご協力をいただきました。日本アニメ様は、アニメーションを主体とした、映像作品の企画・制作を主な事業内容とする日本の企業です。今まで、ちびまる子ちゃん、あらいぐまラスカルを始め、多くの良質な名作アニメを、沢山世の中に送り出して来ました。そのスタジオが多摩市内にあります。来日メンバーの多くの興味と関心を集め、希望者を抽選で選びました。当日は、展示資料室にて、アニメ制作の一連の過程の説明を受け、実際の資料、作品も拝見し、その後、以前のセル画の撮影室、実際の作画室、過去の作品のギャラリー室、アニメのグッズ展示室、作画のトレースの体験室、等を見学、体験しました。日本アニメ様担当の方の、懇切丁寧な説明と案内を受け、幸せ感一杯の楽しい一日となりました。(WCT:都築)

新しい企画の公開イベント“世界はひとつ”に不安もあったが、滞ることなく、終始綺麗に収まったように思う。ロビー活動終了時には観客席から惜しめない賞賛の大きな拍手をいただき、外国人たちはもちろん、準備催行したWCT、TIC側もホッとした瞬間であった。WCIの歌やお国紹介、ダンスなどに観客席はかなり湧いていた。桜ヶ丘商会連合会からお借りした赤いハッピーもよく似合っていた。TICからは二人羽織を行い、参加した外国人はクリームまみれになりながらも大いに楽しんでた。南京玉すだれの演者が南京玉すだれと皿回しを披露し、皿回しは外国人の彼らも参加。初めてとは思えない腕前をみせ、会場が沸いた。最後にカントリーロードを外国人と会場の皆で合唱した。その後はギャラリーの写真展等のコーナーで個々、賑やかにふれあいタイムとなった。TIC会員や市民、外国人が一体になって楽しめた。閉鎖的なイベントではなくオープンにしたことは不安要素も多くあったが、TIC会員からは、大変楽しめた、来年もこの手法で行いたいなど、明るい笑顔で話され、例年にない達成感の内に終了できた。その後、短い時間ではあったが、本格的な抹茶、煎茶の美味しい入れ方、マナー講座等を行い、多摩市のイベント企画が終了した。(TIC外国語セミナー部代表:真島朱子)

WORLD CAMPUS TAMA
2017



WORLD CAMPUS TAMA
2017



メトロポリタンツアー 8/10(木)

ワールドキャンパス多摩 5日目はメンバーの休日で、ワールドキャンパス多摩ユース(高校生から大学生)が来日した20人から希望者を募り1日担当しました。数か月前からユースみんなで話し合って考え企画した「古典」「築地」に分かれて観光を楽しみました。出発前に多摩センターパルテノン多摩前に集合!! みんなでレクレーションを楽しんでから出発です。学年が近い学生同士、仲良しになるのも時間はいりませんでした。日本の電車は乗換も楽しみの一つなんだそうです。この日はお天気が心配でしたが、雨に降られることもなく、学生同士の一日を楽しんできたようです。心配なことがあるとLINEが送られてきたので、リアルタイムにアドバイスを送りました。(WCTスタッフ)

- すごく楽しかったです。予定していた日に参加できなくなったのは悲しかったです。東京案内ツアーを企画して、発表するなど良い経験ができてよかったと思います。来年も参加したいと思います。(彦坂美奈 高校3年)
- メトロポリタンツアーは、当初からとても不安でした。なぜなら、古典班のユース3人ともが今年初参加であり、英語が得意ではないからです。さらに、参加者が一番多い上にメンバーの全員がほとんど日本語がしゃべれないという状況で、どうなることかと思いました。ユースが3人とも大学三年生女子ということで仲良くなり、協力しあって、とてもたのしいツアーになりました。そんなにナーバスになる必要はなかったなと思いました。英語も思ったより覚えていて、けっこう話せました。(土田真由 大学3年)
- 初めての体験でしたが、いろんな国の方と関わることで、とても良い経験になりました。自分から英語を話そうと、自然とそういう気持ちになりました。こういう機会は大切だなと感じました。(斎藤美空 高校1年)
- 今回、初めての参加でしたが、ベテランスタッフの方が馴染めるような雰囲気を作ってくれたので、意見も出しやすかったです。もう少し英語が喋れたら、...とも思いましたが、英語を得意とする人、日本が大好きな外国人のおかげで楽しむことができました。ありがとうございました!(斉藤亜沙子 大学3年)
- 新鮮な経験ができて、とても素晴らしい時間でした。来年もできれば参加したいです。ありがとうございました!!(西木悠人 大学2年)

WORLD CAMPUS TAMA
2017



WORLD CAMPUS TAMA
2017



ホストファミリーデー 8/11(金)

- フィンランド方でしたが普段からフィンランドの教育について興味があったのでたくさん質問ができてよかったです。今回は日本が3度目の方でしたので日本語も通じてたくさん話もできました。子供が女の子でユウソ君が男性ですこし心配しましたがすごく優しい子で家族みんなたくさん思い出ができました。
(山田ファミリー)
- 我が家の家族はあまり英語が話せないで、キーガンも始めは人見知りで緊張していたようですが、私の息子が(小6)翻訳アプリを使ったりしてキーガンと二人で何やら楽しそうにしていたり、娘(中2)はスマホの写真アプリを使って写真を撮って笑い合ったりしていてキーガンはだんだん私達家族に慣れてくれました。キーガンと過ごした時間はとても楽しませていただきました。(小松ファミリー)
- 17歳のアメリカからの女子高生で、厳格なベジタリアンと知ってからは、一体何を差し上げればいいのか、相当悩んで当日を迎えました。本人に聞くのが一番と、初日はまっすぐスーパーマーケットへ!「何を食べたい?何が好き?」と尋ねたところ「きなこもちが好きです!」と思いもよらない返事。まさか真夏におもちを1袋ときなこを買うことになるとは思いませんでした。日本語は高校で2年間勉強しただけという彼女でしたが、日本語も普通の会話のやりとりはできるレベルに上手でした。アメリカの政治のこと、日本の「過労死」の問題などの深い話は猛スピードの英語になりましたが、アメリカの17歳高校生の考え方がわかって大変面白かったです。
(古屋ファミリー)
- フィンランド出身の彼女はとても荷物が少なくお家もとてもきれいに使ってくれました。穴が開いているスーパーのビニール袋を使っていたので、新しいのをあげると申し出ると勿体ないから要らないと断られました。無駄がなくシンプルな暮らし。寒い北欧の国では環境を大切にしているのだろうと考えさせられる一件でした。5才の娘は人見知りをする恥ずかしがり屋のお年頃。NHKのETVの『えいごであそぼ』を毎日見て英語に興味があるのですがなかなか実践の場がありません。お風呂の順番を次にどうぞと「It's your turn」と伝えに行き聞き返されずに通じたと喜んでいました。(中村ファミリー)
- 我が家で食べる食事を毎日「美味しい」と言ってくれました。焼肉、手巻き寿司、流しそうめん、餃子など我が家も毎日が特別な食事で楽しかったです。ほとんど日本語がしゃべれない方でしたがお互いスマホで言葉を調べたり、身振り手振りで伝えあったりして過ごしました。英語や他国の文化を知る良い機会となりました。夏休みということもあり私達家族もイベントにはできる限り参加させて頂きました。対面式に始まり、息子の小学校での他のメンバーとの交流や、世界とあく手イベントでのメンバーのステージなどとても楽しく1週間を過ごすことができました。また同じホストファミリーの方々とも交流ができてとても有意義な時間となりました。スタッフの方、WCTの皆さんのサポートに感謝申し上げます。(藤本ファミリー)
- イスラエルという未知の国からで、とても興味深い話が聞けました。イベントや仲間の中ではムードメーカーのようで、格好よく振舞っていたりしましたが、家に帰ってくると、本当に子供のように自然な姿でくつろいでくれて、家族のように感じました。途中で家族がそろって、病気になってしまったのですが、ボランティアスタッフの方々がサポートしてくださり、とてもありがたかったです。サミもボランティアの人たちは大変良くやってくれている。素晴らしいと大絶賛でした。
(宮田ファミリー)
- 高校生の娘と同世代の方、しかも趣味まで一緒の方でした。同室だったので夜遅くまでおしゃべりに花が咲いていたようです。滞在中はフランス・スイス・シンガポールの3か国の文化の違いなどを教えてもらい、小学生の娘はそれを自由研究にまとめていました。お別れ前夜は子供3人と一緒に4人で就寝。本当に楽しい、あつという間の1週間でした。今でもLineで連絡をしています。(小作ファミリー)



解散:最終日、成田空港へ8/12(土)



ワールドキャンパス多摩 第3セッション本日最終日ホストファミリーと最後のご挨拶。20人の学生は第3セッション多摩での企画学習を通じて何を学び、何を感じていたのでしょうか。この企画に参加する学生は、数年後、このワールドキャンパスでの経験、体験から更に勉強をして日本の大学に留学したり、日本で就職を考えるなど努力家が多いのが驚きです。毎年参加する学生の募集や参加する前の面接など、世界を飛びまわるワールドキャンパスインターナショナル代表 西村さん。昨年度からスタートした ワールドキャンパスノルウェー企画学習に沢山の日本人学生を迎えるための準備のために一足早くノルウェーに出発。ワールドキャンパス多摩は来年度の企画コアミーティングが早々と動き始めます。沢山の多摩市の皆様に支えられた1週間でした。20人の学生諸君!! また会える日を楽しみにしています。

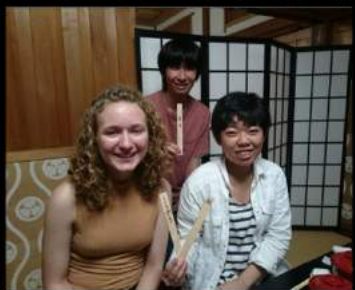
- 恵泉女子大学でディスカッションに参加できたのが一番の思い出になりました。「世界平和」と言うテーマで色々な国の世界史の見方について聞くことができたのは8か国20人という幅の広い人たちの参加の賜物だったと思います。(WCTユース)
- イスラエルの方から聞いた古代ヘブライ語と現代ヘブライ語の変遷などについて、自分が教科書で三行程度で済ませていた部分を、自国の歴史として学んできた人に聞くと、非常に重たく、深い歴史があるということを知れたのがとても興味深く、面白く感じました。(WCTユース)
- 初めての体験でしたが、いろんな国の方と関わることができて、とても良い経験になりました。自分から英語を話そうと、自然とそういう気持ちになれました。こういう機会は大切だなと感じました。(WCTユース)
- 日本に来る目的はそれぞれ違っているし、来る前のバックグラウンドも一人一人違っているけれど、それらに向き合い人と人の交流ができる場がワールドキャンパスだなと思いました。(WCTユース)

WORLD CAMPUS TAMA
2017



WORLD CAMPUS TAMA
2017





- 新鮮な経験ができて、とても素晴らしい時間でした。来年もできれば参加したいです。
- もう少し英語が喋れたら、とも思いましたが、英語を得意とする人、日本が大好きな外国人のおかげで楽しむことができました。
- 初めての体験でしたが、いろんな国の方と関わることができて、とても良い経験になりました。自分から英語を話そうと、自然とそういう気持ちになれました。こういう機会は大切だなと感じました。
- 学校訪問で、子ども達が緊張顔から時間と共に来日した学生達とコミュニケーションしながら笑顔になっていく姿をみて感動しました。1か国だけでなく数か国の学生と一度に交流出来る体験は、たった数時間でも刺激のある時間だったと思います。1年に一度の活動ですが、夏休みではなく、違う季節に来ていただき、子ども達との交流をつくって頂けると嬉しいと思いました。



2017年度 中間会計報告

2017年度8月31日現在

単位:円

<収入の部>

協賛金	150,500
会費	20,000
広告収入	48,000
前期繰越金	52,401
合計	270,901

<支出の部>

事業費	76,766
<内訳> (説明会)	703
(対面式)	11,730
(TIC 地域交流)	14,966
(世界の広場)	42,367
(メトロポリタンツアー)	7,000
会議費	7,529
ボランティア保険	8,184
印刷費	4,313
通信費	6,541
事務用品費	8,145
チラシ(HF募集)	15,670
合計	127,148

支出予定費※

DVD	8,000
報告書作成	34,000
交通費	50,000
雑費	3,000
計	95,000

※予定は2016年度実績で、
確実に今後費用発生するものです。



■後援: 多摩市, 多摩市教育委員会,
(公財)多摩市文化振興財(バルテノン多摩)
唐木田コミュニティセンター運営協議会,
唐木田児童館, 唐木田図書館,
多摩市国際交流センター,
東京多摩プロバスケットボールクラブ,

■協力: 永どんサポーターズクラブ,
NPO法人グローバル言語文化研究会
恵泉女学園大学, 南鶴牧小学校,
鶴牧中学校,



唐木田駅前郵便局 唐木田 042-389-4816	キッチンティス 唐木田 042-339-5544	中沢接骨院 唐木田 042-357-0611	東急自動車学校 唐木田 042-372-0109
からきだ駅前クリニック 唐木田 042-376-3800	新倉農園 落川 080-1173-1346	宮川獣医科 桜ヶ丘 042-375-7541	朝日新聞 ASA 多摩センター 落合 042-372-5211
かかりつけ薬局 マヒキザワ薬局 馬引沢 042-337-1717	きものお手入れ工房 染と洗 ドレッセ 聖ヶ丘 042-374-8113	医療法人社団みゆき会 みゆきクリニック 連光寺 042-372-4853	朝日新聞 ASA 桜ヶ丘東部 関戸 042-373-3961
店頭精米の店 よろずや米店 貝取 042-371-6954	地酒の小山商店 関戸 042-375-7026	みゆき歯科クリニック 関戸 042-339-8251	聖蹟桜ヶ丘駅前 近江牛の神谷 関戸 042-375-7833